

平成31年度ホタテガイ採苗情報（第2報）

平成31年4月25日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



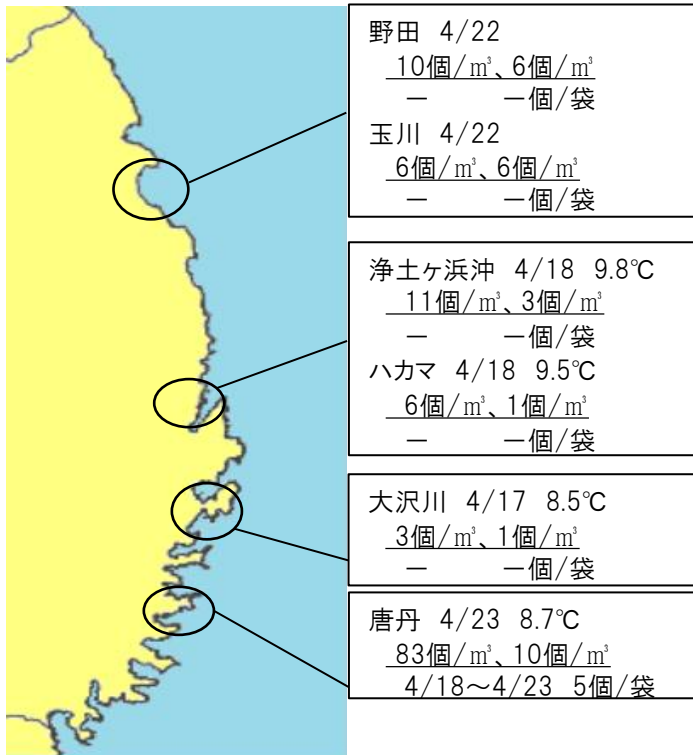
小型のラーバが増加。稚貝の付着はわずか。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は平年並みの8.7℃で、透明度は7.0mでした。
- 唐丹湾では、小型のホタテラーバ（殻長200μm未満）が増加しました。
- 全県的にキヌマトイガイ等、ホタテ以外のラーバが多く出現しています。
- 唐丹湾の試験採苗器へは5個体のホタテガイ稚貝が付着していました。
- 採苗器投入適期はまだ先です。採苗器の準備を進めてください。

【採苗器分散投入のススメ】

採苗器の投入は、早すぎても遅すぎても良くありません。早すぎると付着物のために稚貝が付着しにくくなり、時期が遅いとラーバ自体が少なくなります。分散作業のスケジュールも考慮しつつ、適量の採苗をするために、可能な限り採苗器の分散投入を心がけましょう。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月9日頃に
発行する予定です。

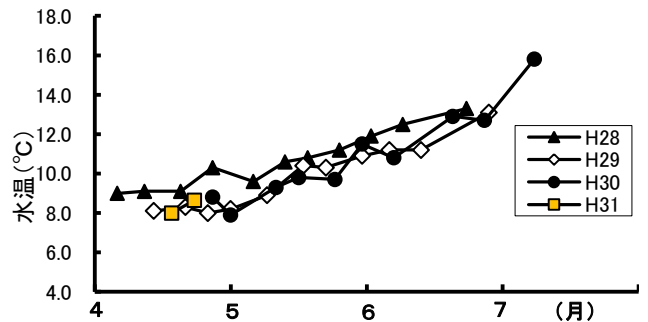


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

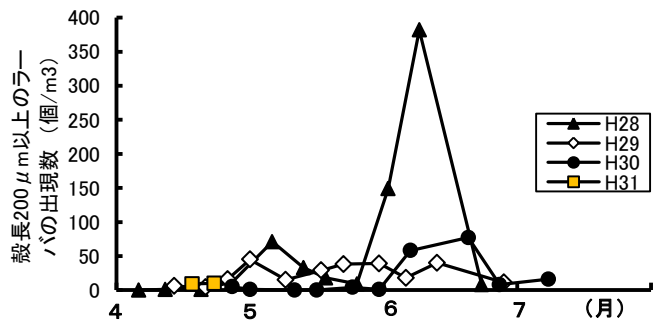


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

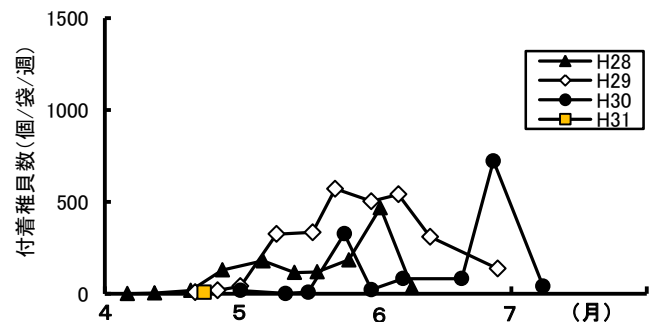


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数